寅さん歩 その26

東京の主要道路の起点〜終点 世田谷通り -1



平野 武宏

道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思いました。2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り(番外編)」、「靖国通り(元大正通り)」、「目白通り」、「内堀通り」、「目黒通り」、「本郷通り」と歩きました。江戸五色不動の「目黄不動尊」が明治通りの大関横丁交差点先の「永久寺」に、「目白不動尊」が目白通りの高田一丁目交差点近くの「金乗院」に、「目黒不動尊」が目黒通りの大鳥神社交差点近くの「龍泉寺」に、「目赤不動尊」が本郷通りの「南谷寺」にありました。

今回は江戸五色不動の最後に残った「目青不動尊」がある「世田谷通り」を 歩きます。写真上右は世田谷通りの道路名標識(都道 3 号線)です。世田谷通 りは世田谷区三軒茶屋の玉川通り三軒茶屋交差点から狛江市東和泉四丁目の多 摩水道橋に至る延長約 9 k mの道です。掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯 に撮影しました。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

[三軒茶屋交差点] #HACEE軒茶屋二丁目

最寄駅 東急田園都市線 三軒茶屋駅





世田谷通り(都道3号線)は玉川通り(国道246号線)の三軒茶屋交差点が起点です(写真上左)。写真内の右側が世田谷通り、その左側が玉川通り、その上は高速道路 渋谷線です。この地点の世田谷通りは都道の主要地方道で道路名標識の色は緑です。三軒茶屋とは江戸時代に大山参拝の途中、この近くに三軒の茶屋があったことに由来しています。



すぐ右にはキャロットタワー(写真左)があります。駅周辺の再開発事業で1996年 (平成8年)に完成した三軒茶屋のランドマークで商業・オフィス・ホールの複合ビルです。地下は田園都市線三軒茶屋駅と連絡しています。ビル名は公募で中学一年生の作品とのこと。26階の展望台(無料)から世田谷の街並みや遠くの山が一望(写真下)出来ます。写真は以前の訪問時のものです。





目青不動尊が祀られている教学院は世田谷通りをはずれ、キャロットタワー脇の道を右へ行き、東急世田谷線三軒茶屋駅(写真下左)近くにあります。東急世田谷線は三軒茶屋駅と下高井戸駅を結ぶ全長約5km、10駅の軌道線です。





[目青不動尊] 世田谷区太子堂四丁目

最寄駅 東急世田谷線 三軒茶屋駅

東急世田谷線の踏切を越して左へ行くと右側に最勝寺 教学院 不動堂(写真下左右)があります。教学院は1311年(応長元年)創建の天台宗の古刹で明治期に青山から移転してきました。目青不動尊は元麻生谷町の観行寺にありましたが、廃寺となり教学院へ遷されたと伝わります。寅さん歩10 江戸五色不動めぐりをご覧ください。





[若林交差点] 世田谷区若林三丁目

最寄駅 東急世田谷線 若林駅

若林交差点(写真下右)で環七通り(都道 418 号線)と交差します。環七通りは大田区東海一丁目から江戸川区臨海町四丁目までの延長約 57 k mの環状線です。若林交差点を左へ行くと大森方面、右へ行くと高円寺方面です。環七通りは交差点の道とアンダーパスで進みます。世田谷通りは直進です。





先へ進み、入口標識の道を右に入り(写真下左)、東急世田谷線踏切を越すと吉 田松陰を祀る松陰神社です。さらに進んだ入口標識の道(写真下右)を右に入 ると世田谷区役所があります。区役所前は国士舘大学世田谷キャンパスです。

寅さん歩 194 東京の学食めぐり-3 (国士舘大学、松陰神社) と寅さん歩 262 官公庁の食堂めぐりー17世田谷区役所をご覧ください。





「世田谷三丁目交差点】 世田谷区世田谷三丁目

最寄駅 東急世田谷線 上町駅

世田谷三丁目交差点(写真下右)で世田谷通りは左へ進みます。右へ行くと豪 徳寺方面で東急世田谷線 上町駅脇を過ぎると世田谷城址公園や井伊家墓所の 豪徳寺があります。また豪徳寺は招き猫や紅葉で有名です。世田谷城は吉良氏 が築いた平城で小田原城攻めの際に豊臣勢に接収され、廃城となりました。

招き猫は寅さん歩11 東京発祥之地めぐり(産業・商業-1)、紅葉は寅さん歩 108 東京の紅葉・黄葉―3をご覧ください。





左側のボロ市通り(写真下左)を入ると、代官屋敷(写真下右)があります。

ボロ市通りは毎年ボロ市で賑わいますが、しばらくはコロナでお休みです。





寅さん歩 402 東京の博物館めぐり-51世田谷区-1および寅さん歩 80 江戸。 東京の祭-4世田谷ボロ市をご覧ください。



写真左は松が丘交番前交差点です。 左へ行くと都道 427 号線で桜新町方 面です。右は宮坂方面です。 この辺りは桜や桜丘の地名なので 桜が多い又は多かった地と推察し しました。

やがて右側に東京農業大学世田谷キャンパスが見えて来ます

[東京農大前交差点]

世田谷区上用賀二丁目

最寄駅 小田急線 千歳船橋駅

写真下左は東京農業大学世田谷キャンパスの正門です。東京農業大学前交差点 (写真下右)は左へ行くと馬事公苑通りで、東京オリンピックの馬場馬術競技 が行われた馬事公苑の脇を通ります。







世田谷通りの左側には東京農業大学の「食と農の博物館」(写真左)があります。

寅さん歩 195 東京の学食めぐりー4 東京農業大学および寅さん歩 402 東京の博物館めぐりー51 世田谷区 ー1をご覧ください。博物館の前を 左に進むと馬事公苑です。

馬事公苑はJRA日本中央競馬会の運営で1964年及び2020年(2021年開催)の東京オリンピックの馬場馬術競技会場になりました。現在は復旧工事のため2023年秋頃まで休苑とのことです。

今回はここまでとします。

[バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、現在はバーチャルウォーク松尾芭蕉とあるく「奥の細道」に挑戦しています。全行程約600里(約2400km)の長旅なので最後までたどり着けるか心配ですが、目標があれば元気に生きられると強がっています。

2022年4月26日、江戸深川(現在の江東区深川)の芭蕉庵を出発、2022年6月1日、黒羽(現在の栃木県北東部にあった町で2005年(平成17年)10月大田原市へ編入されました。江戸深川から211km)に到着しました。八柳さんのコースシートには都度、芭蕉の俳句が掲載されています。 芭蕉は日光から黒羽藩城代家老浄法寺図書(俳号桃雪)のもとを訪ね、滞在しています。

修験光明寺の行者堂を拝んで一句

「夏山に 下駄を拝む 首途(かどで)かな」

(注釈:遠く幾重にも連なる、滴るような緑をたたえた初夏の山なみを望んで、あの向こうが目指す陸奥なのだと心弾ませつつ、行者堂に安置されている役行者の足下駄を拝み、その健脚にあやかって、前途の千山万里を無事踏破できるようにとの首途(門出)の祈願をこめることである)

霊願寺で禅の師であった住職、仏頂和尚の山籠もりの庵跡を訪ねて一句

「木啄(きつつき)も 庵は破らず 夏木立」

(注釈:あの、寺をつつきこぼつといわれている木啄きも、この草庵だけ は破らなかったのだ。そして、それは今、自分の目の前の鬱蒼たる 夏木立の中に別天地を存していることよ)

毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。 FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。

また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷して利用ください。

歩く際は密閉・密集・密接の密にならないよう、又それ以外の感染対策を怠ら ないようにお願いします!

平野 寅次郎 拝